

# 連合救援ボランティアレポート

第13号  
2011年4月21日

| 1

いわきで活動中のボランティア隊（全電線のみなさん）から、現地で共に活動した地元ボランティアから送られたメールの紹介がありました。連合ボランティアへの感謝だけでなく、風評被害の苦しみ、そして、地元の復興にかける強い思いが伝わってきます。以下、ご紹介いたします（原則、原文のまま）。

今日は、一緒に楽しく、活動することが出来て、本当に良かったです！  
このような状況の中で、県外から沢山の方たちが応援に来て下さり、凄く温かさを感じます（\*^ ^\*）  
ボランティアという形で一緒に活動させて頂き、ありがとうございました。  
関西弁も教えて頂いたり、今までボランティアを行った中で一番楽しく活動させて頂きました！  
体に気をつけて、お仕事がんばってください\(^ ^)/  
それから…東北…いや、福島県…いわき市を…見捨てないでください。風評被害に惑わされたりしないでください…。お願いします。もっと、沢山の人たちが理解をし正しい知識が求められると思います。  
差別偏見が日本で起こるのは悲しいことだと思います。  
私たち…傷ついたり、苦しむことが、これから沢山あると思いますが…  
沢山の方たちにたすけて頂いた分、くじけずに、一生懸命生きていきます  
今日は本当にいわきまでわざわざ来て頂き本当にありがとうございました

## 活動レポート

宮 城

仙台拠点周辺のがスが復旧！ 19日以降風呂使用が可能になりました（ただし班交代・時間制限あり）

### ●仙台拠点

【4/17】石巻市・大街道南地区で民家の泥出し、家具の運び出し、床板はがしを実施。

【4/18】石巻市、東松島市で、前日と同様の作業を実施。

【4/19】休養日

【4/20】石巻市、東松島市で、18日と同様の作業を実施。



**現地から** 大街道南地区は石巻港に近く、近隣の製紙工場から流されてきた紙パルプやロール紙等が民家の庭先に堆積しており、家財等の運搬通路を確保するため、まずそれらを除去しなければならぬ。民家の中には、津波で流されてきた車が4台もあり、ボランティアでは手のつけようがないところもあった。

家主からは非常に感謝される。ある方からは「女性が多い世帯で重い家具を運び出せずにはいた。大変助かった」との言葉をもらった。

## ●一関拠点

【4/20】 気仙沼市南郷地区で、民家床下からの泥出し、家財等の撤去、床・壁の洗浄作業を実施。

**現地から** 南郷地区は川沿いに位置している。多くの家屋が津波で1階部分が浸水したが、漂流物で損壊していない家は引き続き住むことができそうであり、依頼主もそのつもの様だ。作業内容はこれまでと変わらないが、この地区は床面積の広い家が多く、その分作業量が多い。

## 福 島

### ●福島拠点

【4/19】 郡山市内 2 か所の避難所での炊き出し、炊き出し食材の仕込み（1,260人分の野菜等）、布団等の片づけを実施。相馬市での作業は雨天のため中止。



■会津は雪景色に（4/19）

### ●会津拠点

【4/19】 会津若松では、支援センターでの支援物資の整理、配布、受付等を実施。

【4/20】 会津若松では、前日と同様の作業を実施。物資の中ではシャンプー・リンス、バスタオル、米への需要が大きいとのこと。



■人参の泥落とし。この日仕込んだ野菜は650人分（郡山市）

### ●いわき拠点

【4/19】 会津拠点から19名を受け入れ、拠点を立ち上げ。ボランティアセンターまでのルート確認、連合福島いわき地協との打ち合わせを行う。

【4/20】 いわき市沼内地区の道路にたまった砂泥等の除去作業、ボランティアセンターで作業に必要な器材の貸し出し・受け取り業務等を実施



■相馬での体育館の片づけ作業。壁の汚れの高さまで津波が押し寄せた（4/20）



■気仙沼で通行できなかった生活道路の清掃を行う。  
左：作業前 右：作業後（4/18）



【第三陣 派遣人数】 岩手 104 人 宮城 79 人 福島 105 人 計 288 人  
【第一陣以降の延べ人員】 3,285 人（4/21 現在 ※派遣人員×活動日数）